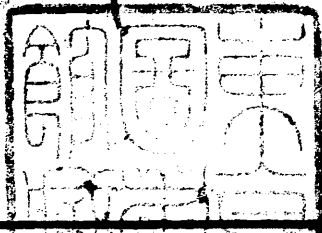


井上重實輯  
修身訓蒙

卷之八





修身訓業卷八



井上重實輯

○高山一升ヲザレバ、天之高キヲ知ラズ、先王之  
 道ヲ聞カザレバ、學問之大ナルヲ知ラズ、大戴禮  
 ○嘉肴アリト雖モ食ハザレバ、其旨キヲ知ラズ、  
 至道アリト雖モ學バザレバ、其善ヲ知ラズ、學記  
 ○夫レ舟楫之利ヲ用ヒザレバ、江海之廣キヲ知  
 ラズ、賢哲之道ヲ聞カザレバ、學問之大ナルヲ知  
 ラズ、彼ノ昏愚ニシテ未ダ賢哲之道ヲ聞カザレ

修身訓業卷八

何ヲ以テ學問ノ大ナルヲ知ラシヤ、初學知要  
○馬ニ逸足アリト雖モ、而モ輿ニ從ヒテ閑トクザレ  
バ、則チ良駿トナラズ、人ニ美質アリト雖モ而モ  
道ヲ聞テ習ハザレバ、則チ君子トナラズ、故ニ學  
者ハ道ヲ習フヲ求ムベシ、治學篇

○凡ソ山陵之高キハ削テ崛起ヲ成スニ非ズ、必  
ズ歩ゴトニ増テ稍々上ルナリ、川谷之卑キハ截  
斷シテ陷窪ナルニ非ズ、必ズ陂池ヨリシテ稍々  
下ルナリ、是故ニ上ヲ積テ止マザレバ、必ズ山岳  
之高キヲ致ス、下ヲ積テ己マザレバ、必ズ黃泉之

深キヲ極ム、是獨山川ノミニ非ザルナリ、人行モ  
亦然リ、人臣ニシテ正ヲ積デ倦マザレバ、必ズ節  
義之志ヲ生ス、邪ヲ積デ止マザレバ、必ズ暴虐之  
心ヲ生ズ、故ニ道ヲ學フハ慎マザル可ケンヤ、呂  
訓業

## 第二

○夫レ父子之道ハ天性ナリ、孩提之童モ其親ヲ  
愛スルヲ知ラザル無シ、是ヲ良知ト謂フ、唯孝  
子ニシテ能ク此心ヲ失バズトス、故ニ身ヲ終ル  
マテ父母ヲ慕フ、且ツ唯人ノミ此孝アルニ非ズ

禽獸ト雖モ亦タ之アリ慈鳥之哺ニ反スル虎狼  
之養ヒヲ知ル、豺獺之本ニ報ユ、豈ニ天性之自然  
ナル者ニ非ザラン乎、而テ不孝ナル者ハ曾テ禽  
獸ニモ如カザルナリ、初學知要

○父母ニ孝順スルノ道理ハ、人々須カラク心ヲ  
盡シ、カヲ盡スヲ要スベシ、大約父母ニ孝順スル  
ニハ、兩件ノ事アリ、一ハ父母ノ身ヲ養ハント要  
シ、一ハ父母ノ心ヲ安ゼント要スベシ、傳家寶  
○曾子父曾皙ヲ養フヤ、食ヲ進ムゴトニ必ズ酒  
肉アリ、將ニ徹テ去ンスル時ニ、此餘ハ誰ニ與ヘ

ル所ヲ請フ、或ハ父餘食アリヤト問ヘハ、必ズ有  
リト曰フ、其意親ノ心ノ更ニ人ニ與ヘント欲ス  
ルヲ恐ルナリ、孟子

○曾皙死ス、曾元父曾子ヲ養フ、亦タ酒肉之供ヘ  
アリ、將ニ徹ニスルニ、其人ニ與ヘル所ヲ問ハズ、  
偶々餘リ有リヤト問ヘバ、則チ亡シト曰フ、其意  
將ニ之ヲ以テ復タ再ヒ進メンスルナリ、此レ所  
謂親ノ口體ヲ養フ者ナリ、曾子ノ如キハ、則チ親  
ノ志ヲ養フト謂フ可キナリ、蓋シ親ニ事ルニハ、  
曾子ノ親ノ志ニ體シテ之ヲ養ガ如クニシテ可

ナリ、同

○父母壯年感ナル時ハ、猶ホ自ラ事々整へ理ムベシ、一タビ年邁キ身衰ルニ至テハ、手足ノ運動是レ難シ、起居常ニ不便ナリ、實ニ子ニ頼ム所ノ者甚ダ切々タリ、人ノ子タル者、此時ニ於テ其カヲ竭サズンバ、又何クニ其カヲ用ヒンヤ、時習編

### 第三

○人臣タル者ハ、主アレバ身ヲ忘レ、國アレバ家ヲ忘レ、公アレバ私ヲ忘レ、利ヲ見テ苟モ就カズ、害ヲ見テ苟モ去ラズ、唯タ義ノ在ル所ナリ、賈誼傳

○君ハ臣之天ナリ、君ニ背クハ則チ天ニ背クナリ、其咎大ナリ、君子訓

○臣下之徳ハ忠ヲ主トシ、我が身ノ利害ヲ顧ミス、只偏ニ君ノ爲メニ心ヲ盡ス、故ニ忠臣ハ國之至寶トスベシ、同

○君ニ事フル道ヲ以テ云ハ、我が身ヲ忘レテ、偏ニ君ニ忠スルハ公ナリ、同

○人臣之譽ハ忠ヨリ美ナルハ無シ、潜夫論

○凡ソ人ハ忠信アリテ、後ニ才カヲ用フベシ、忠信ハ貞實ニシテ偽リ無キナリ、君子訓

○忠義ノ心ハ人皆ナ之有リ、惟ダ其レ之ヲ執ル固カラズ、之ヲ勉ムルニカメズ、是ヲ以テ古人ニ及バズ、韓琦語

○君子之行ヒ、動ケバ則チ義ヲ思ヒ、利ノ爲メニ回ラス、義ノ爲メニ疚シカラズ、漢劉梁傳

○一ノ行ヒアリテ常ニ履ム可キ者ハ正キナリ、正キトハ義之要ナリ、荀悅語

○君子ハ義ニ非ザレバ以テ生ズル無シ、義ヲ失ヘバ則チ其以テ生ズル所ヲ失フ、小人ハ嗜慾ニ非ザレバ以テ活ル無シ、嗜慾ヲ失ヘバ則チ其以

テ活ル所ヲ失フ、故ニ君子ハ義ヲ失フヲ懼レ、小人ハ利ヲ失フヲ懼ル、淮南子

#### 第四

○兄弟之生ルヤ相去ル或ハ數日或ハ幾月ナリ、其尊卑タルヤ僅カニ微ナリ、而シテ聖人直チニ是クノ如ク、長幼ヲ分別スルハ、何ソヤ、曰ク、特ニ聖人ノミ其先後ノ序デヲ重ンズルニアラズ、天之四時ノ如キハ、分毫頃刻之間モ、皆ナ次序アリ、此レハ是物理之自然ニシテ、易フ可カラザルナリ、童蒙須知

○凡ソ尊長ニ侍坐スレバ、目ハ常ニ敬テ顔色ヲ  
候ヒ、耳ハ常ニ敬テ言論ヲ聽キ、命ズル所アレバ、  
則チ起立ス、尊長倦ム色アラバ、則チ退キ去ント  
請フ、或ハ尊長ト獨語ヲ請フ者アレバ、則チ身ヲ  
他所ニ屏<sup>カ</sup>ベシ、但弟子ノ分當ニ侍立スベシ、或ハ  
尊長之ニ坐ヲ命ズレバ、則チ亦タ當ニ命ニ遵テ  
坐スベシ、敬畏スル<sup>ト</sup>此クノ如シ、童禮知要

○尊長ニ侍ベリ行クニハ、必ズ其後ニ居リ、相ヒ  
遠ザカル可カラズ、事ヲ問フ所アラシクテ恐ル、若  
シ問ヒ己ニ及ベハ、稍々左右ニ進デ以テ便チ應

對スベシ、自之瞻視ハ、必ズ尊長ノ向フ所ニ隨フ  
ベシ、登陟スル所アラバ、先後ニ之ヲ扶持スベシ、  
人ニ塗ニ遇ハハ、一禮シテ即チ別ルベシ、尊長ヲ  
捨テ之ト與ニ言フヲ得ズ、同

### 第五

○人ニ交ルニハ、常ニ禮義ヲ正シクスベシ、禮義  
之始ハ先ツ威儀ヲ整フベシ、威儀トハ、身ノ容儀  
ヲ云フ衣服ヲ整ヘ、顔色ヲ正シクシ、貌ヲ嚴ニシ、  
言ヲ順ニスルニアリ、言語容貌ハ、内心ノ外ニ見  
ルノ符ナリ、言ヲ聞キ貌ヲ見テ、其内心ノ善惡ハ

知レ易シ、慎マザル可ケニヤ、大和俗訓

○人ノ性各々同ジカラス、得タル所アリ、得ザル所アリ、一人ノ身ニ善事皆ナ備ル者稀ナリ、其人ノ得タル所ヲ用ヒテ、得ザル所ヲ責ムベカラズ、一事得タルアラバ採リ用ヒテ、其餘ノ得ザル所ヲ咎ムベカラズ、我が身ヲ顧ミバ、亦タ得ザル事多カルベシ、若シ人ノ得ザル所ヲ責テ得タル所ヲ捨テバ、世ニ用フベキ人ナク、交ルベキ人ナカルベシ同

○汎ク交ル之道ハ、其長ズル所ニ與ミシテ、其短

ナル所ヲ避ケバ、則チ歡心得ル 韓琦語

○人ノ得ザル所ハ、責ムベカラズ、愚カナルヲバ怒ルベカラズ、人ノ我ニ無禮ヲ行ハハ、未ダ道ヲ知ラヌ故ト思テ、恨ムカラズ、大和俗訓

○人ニ交ルニ怒ヲ以テスベシ、怒トハ己レヲ推テ人ニ及ボスノ意ナリ、我が心ヲ以テ人ノ心ニ比スルニ違フナシ、我が好ム事ハ、必ず人モ好メリ、我が嫌フ事ハ、必ず人モ嫌ヘリ、故ニ我が心ヲ以テ人ノ心ヲ推シ量リ、我が嫌フ事ヲ人ニ施スヘカラズ、我が好ム事ハ人ニ施スベシ、是仁ヲ



行フ之道ナリ、大和俗訓

○己レノ欲セザル所ハ、人ニ施ス勿レトハ、風波ヲ世上ニ作ス莫キヲ云ナリ 紳瑜

○人ニ交ルニハ自反ヲ旨トスベシ、自反トハ自ラ反ルナリ、人ヲ咎メズシテ、我が身ニ反リテ善ヲ求ルヲ云フ、人ノ我ニ從ハザレバ、己レノ過ヲ責テ、人ヲ責メザルヲ云フ、大和俗訓

○行ヒテ得ザル有レバ、反リテ己レニ求ムルハ、自ラ氷炭ノ胸中ニ在ル無キヲ云フナリ 紳瑜

第六

○初學之知ル所ハ、其皮膚ニ止ル而已、君子ノ知ル所ハ、皮ヨリシテ肉ニ到リ、肉ヨリシテ骨ニ到リ、骨ヨリシテ體ニ到ル、其間幾重之界限ヲ隔ルヲ知ラズ、然ハ則チ之ヲ千百タビスル之功、闕ベカラズ、慎思録

○學者之學ヲ講ジ業ヲ勤ル、皆時日之力ヲ以テス、故ニ志士ハ日ノ短クシテ而テ今日重ネテ來ラザルヲ惜ム、是ヲ以テ學者ハ最モ時日ヲ惜ムヲ要ス、今人ハ無益ヲ作シテ有益ヲ害シ、時ヲ廢シ日ヲ曠フス、惜ム可キカナ、同

○日々善ヲ行フテ休マズ、小善ト雖モ、而モ行フテ廢セザレバ、一日ニ十二時ノ功アリ、一月ニ三十日之功アリ、一年ニ三百六十餘日之功アリ、其積累ニ至テハ、高大ナルヲ測リ知ルベカラズ、須カラク善ヲ行フニ、倦ムナカルベシ、古語ニ曰ク、塵積リテ山ヲ爲スト、小善ヲ積テ大徳ヲ成スニ、喻ヘルナリ、同

○人之學ヲ爲スヤ、歷年之久フシテ、積累シテ息マザレバ、愚者ト雖モ、漸進シテ開明スベシ、故ニ積累之道ハ、專一ナルト勤苦トニ在ルノミ、蓋シ

專一ト勤苦トニ非ザレバ、則チ進テ精明ヲ益ス之功ナシ、同

### 第七

○學ハ志ヲ立ルヨリ要ナルハ無シ、而テ志ヲ立ルモ亦之ヲ強ユルニ非ス、只本心ノ好ム所ニ從フ而已、言志録

○志ヲ立ル之方ハ、又知ヲ致スニ在ルノミ、初學知要

○夫ノ學ハ志ヲ立ルヨリ先キナルハ無シ、志ノ立ザルハ、猶ホ其根ヲ種ヘズシテ、徒ダニ培壅灌漑ヲ事トスルガ如シ、何ニ程勞苦ストモ、成ル

ナシ、王學提綱

○人學ヲ爲スハ、須カラク時ニ及デ、勉勵スルヲ要スベシ、否ザレバ、百悔スルモ、亦竟ニ益ナシ、言志録

○心專一ナラザレバ、直チニ遂ル能ハズ、程子語

○學ハ以テ君子タルヲ求ム可シ、楊子雲語

○楊繼盛七歳ニシテ母ヲ喪ヒ牛ヲ牧ス、或日里塾ヲ過キ、童兒ノ誦讀シ、揖遜スルヲ觀テ、心ニ之ヲ好シ、兄ニ謂テ里塾ノ學ヲ受ルヲ得シヲ請フ、兄曰ク、若ク幼ナリ、何ヲ學ブヤ、繼盛慨然トシ

曰ク、夫ノ幼者ハ唯牛ヲ牧スルヲ任シテ、乃チ學ニ任ゼザルカ、兄之ヲ聽シテ學バシム、繼盛竟ニ塾ニ學フ、然モ猶ホ牧スルヲ廢セズ、兪州史料

第八

○守ル者ハ、信之本ナリ、潜夫論

○實ヲ用フレバ、則チ偽ハラズ、忠經

○敬ハ能ク妄念ヲ截斷ス、昔人云ク、敬ハ百邪ニ勝ツ、百邪之來ハ、必ス妄念アリテ之ガ先導ヲ爲スナリ、言志録

○妄念ヲ起ササルハ、是敬ナリ、妄念ノ起ラザル

ハ、是誠ナリ、同

○心妄リニ念ハザレ、身妄リニ動カザレ、口妄リニ言ハザレ、君子之誠ヲ存スル所以ナリ、傳家寶  
○獨ヲ慎ムト云ハ、人ガ見ル聞クニヨリテ、慎ムト云ワケテ無ク、人ノ見聞カヌ所ニテモ、慎ムヲ云ナリ、惡キトハ必ス見レ易シ、諺ニ、惡事千里ヲ走ルト云フ、天知ル地知ルトテ、知レガルト無シ、惡事ヲ隱スト、種々ノ偽リヲコシラヘテ遁ントスレ氏、偽ヲ云ヘバ云フホド、竟ニ言窮リテ愈々惡事ノ見ル種トナルナリ、人ハ知ラズ聞カズ、事

ハ見ハレズ、若シ見レタラバ、辭ヲ以テ遁ント思フハ、其身ノ智惠ノ足ラザルナリ、故ニ人ニ聞カスベカラズ、見スベカラザル事、又隱スベキ事ハ、必ス斷テ爲スベカラズ、能ク慎ムベシ、戒ムベキナリ、貞丈家訓

第九

○恕ハ、仁之本ナリ、潜夫論

○人ト我トハ原ト同氣ナリ、故ニ民ハ吾ガ同胞ト云リ、人ニ對シテハ、其貴賤親疎ニ從ヒテ、宜シク仁厚恭敬ナルベシ、刻薄傲侮スルベカズ、初學知要

○吾之民ニ於ケルヤ一體之中最モ親切ナリトス、吾ガ同胞ナル所以ナリ、豈ニ私ノ忿怒ヲ以テ濫ニ之ヲ殺スニ忍ビンヤ、同

○人能ク一ノ庸人ヲ勸メテ善ヲ爲サシムレバ、則チ世上ニ便チ一個ノ好人ヲ多クス、能ク一ノ惡人ニ勸メテ善ヲナサシムレバ、則チ世上ニ一個ノ惡人ヲ少クス、其功更ニ倍ス、人事通

○一樹ヲ斷チ、一獸ヲ殺スニ、其時ヲ以テセザルハ、孝ニ非ザルナリ 祭義

○樹木ハ時ヲ以テ伐リ、禽獸ハ時ヲ以テ殺ス、

曾子語

○刻薄ハ、是仁厚之反ナリ、最モ戒ムベシ 初学知要

第十

○學ハ日用彝倫之平實切近ナル者ヲ以テ先キトス、聖人之教、本ト自ラ此クノ如シ、是學者ノ曉リ易ク入り易キ之道ニシテ、異學之徒ノ浮虛大言スル者ト異ナリ、慎思録

○聖學之訓ハ、高キヲ極メ深キヲ極ムルヲ要セズ、蓋シ道ノ高深ハ、以テ初學ニ教ル所ニ非ザルナリ、聖人ノ道ハ、自ラ是簡易ニシテ、愚夫愚婦ト

雖モ、知リ易ク行ヒ易キ者ニシテ、是下學之事、聖人之本教ナリ、慎思録

○若シ夫ノ高深ヲ極ムル者ハ、下學之功積ム久シクシテ、自然ト得ル者、是上達ナリ、同

○蓋シ下學シテ上達スル者ヲ真知トス、下學セズシテ、上達ヲ欲スル者ヲ空論トス、同

○古之學者ハ下學シテ上達ス、高キニ登ルハ必ス卑キヨリスルナリ、蓋シ學者先ツ孝弟忠信日用常行ニ於テ、本ヲ務ルヲ以テ主トス、而ル後ニ文ヲ學デ以テ善ヲ明ニスレバ、則チ知ト行ト並

ヘ進ミテ、日新シテ息マズ、功ヲ用フルノ積ム久シキハ、是下學ナリ、而ル後ニ義理開明シ、德行純熟シテ、自然ニ上達スベシ、故ニ學者ノ工夫ハ、只下學ニ在ル而已、上達スル者ハ、然ルヲ期セズシテ至ルハ是自然之效ナリ、同

○蓋シ知ル所行フ所卑近ニシテ、工夫愈々平實ナレバ、則チ得ル所愈々高明ニシテ所謂下學シテ上達スル者、此クノ如シ、同

### 第十一

○禮ヲ致シテ以テ躬ヲ治レハ、則チ莊敬アリ莊

敬アレバ、則チ威嚴アリ、礼記

○敬シテ失フ無久人ト接シテ恭シク禮アリテ  
非ヲ爲サツルハ、禮之恭ナリ、張載正義

○吾ガ形ハ人ナリ、吾ガ性ハ天ナリ、天ヲ之レ祇  
マズシテ、人ニ之レ隨ヒ、人ニ狗ヒテ、及ルヲ忘レ、

其天ヲ棄テバ、禽獸ニ淪マザルヤ、幾ト希也勿儀 雜歲

○容貌ハ必ズ端嚴凝重ニシテ、輕易放肆スル母  
カレ、粗豪狠傲ナル母カレ、輕カンク喜怒スル母  
カレ、程董學則

○言語ニハ詳審ヲ致シ、然諾ヲ重クシ、聲氣ヲ肅

ミ、輕クス母カレ、誕ナル母カレ、戲謔誼諱スル母カレ、同

○視ルニハ淫シテ視ル母カレ、聽クニハ傾キ聽  
ク母カレ、同

○居ルニ常處アリ、坐ヲ序ヅルニハ齒ヲ以テス、  
凡ソ坐スルニハ必身ヲ直クシ體ヲ正シクシ、箕

踞シテ傾倚スル母カレ、寢ルニハ必ス長者ニ後レ  
既ニ寢レバ言ヲ勿レ、晝ニ當テハ寢ル勿レ、同

○行ニハ必徐カニ、立ニハ必拱シ、長者ニ後レ、尊  
フ所ニ背ク母カレ、闕ヲ踐ム母カレ、同

○寢ルニハ心ヲ寧クシ氣ヲ定メテ、妄リニ思フ

有ル勿カレ、偃スルニハ伏スルガ如クナル勿カ  
レ、仰ヒテハ尸ノ如クナル勿カレ、厥徳ヲ安養ス  
ルハ、萬化之基ナリ、幼儀雜歲

○衣服ハ詭異華靡ヲ爲ス母カレ、垢敝簡率ヲ致  
ス母カレ、燕居スト雖モ裸袒スルヲ得ザレ、張載  
正義  
○飲食ハ飽ヲ求ムル母カレ味ヲ貪ル母カレ食  
スルニハ必時ヲ以テシ、惡食ニ耻ル母カレ 同

第十二

○凡ソ事ハ費ヲ省キ用ヲ省キ、足ルヲ知り止ル  
ヲ知り、少シノ財ヲ剩シ、以テ飢荒ヲ防キ、少シノ

福カヲ惜ミ、以テ身命ヲ養フ、減不可キハ即チ減  
ジ、少ク可キハ即チ少クベシ、傳家寶

○器物ハ朝夕用アル物ヲ寶トスベシ、無用ノ奇  
物ヲ寶トスルハ價ハ多ク費エテ、我が用ニ立ツ  
事稀ナリ、常ニ用アル器ハ、價ノ費ハ少ナクシテ、  
用ニ立ツ事多シ、抑々得ガタキ寶ヲ求ルハ、古人  
之戒ナリ、家道訓

○衣服ハ、身ノ露ルヲ藏ス可キ爲メノ物ナリ、惡  
キ衣服ニテモ、露ル身サヘ藏セバ用足ルナリ、其  
身ノ分限相應ノ衣服ヲ著スベシ、身分不相應ナ



ル衣服ヲ著スルハ、是奢ナリ、貞文家訓

○食物ハ命ヲ繫ク爲メノ物ナリ、惡キ食物ニテモ、生キタル命サヘ繫ゲバ、事足ルナリ、甘キ物ヲ好シ、金錢ヲ費シ、飲食ヲ專ニスルハ、是奢ナリ、同

○自ラ處ル所ノ身分ノ地ヲ度リテ、物ヲ用フベシ、十分ノ物ヲ只七八分用ヒテ、盡ザルノ意ヲ留メテ可ナリ、金言

○古人云ク、常ニ有ル日ヲ以テ、無キ日ヲ思ヘバ、衣食以テ虧ザルベシ、財源以テ常ニ足ルベシ、禮節以テ粗ボ完カルベシ、家業以テ永ク保ツベシ、

餘リアル者ハ、益々富厚ナリ、足ラザル者ハ、漸々ニ餘リアルニ至ル、傳家寶

第十三

○堪忍トハ毎事コトヘルナリ、我が心ニ、我がマ、シタキコトヲコラユベキナリ、五常五倫之道モ、堪忍ノ二字ヲ用フズシテハ行ナハレズ、其他都ベテ堪忍ノ心無クテハ、何事も成リ難シ、故ニ堪忍ヲ本トスベシ、貞文家訓

○堪忍ハ心ヲ長ク緩ヤカニ有タザレバ、事々成リ難キモノナリ、同

○古語ニ和スレバ仇ナシ、忍ベハ辱メナシト云  
リ、其意ハ温和ニシテ人ト争ハザレバ、仇トナル  
者ナシ、人ノ無禮ヲユルシテ、怒ヲコラユレバ、人  
ノ怒起ラズシテ、我カ身ニ耻辱無キナリ、大和俗訓  
○古語ニ、忍過ギテ事喜ブニ堪タリト云リ、堪忍  
シテ後ハ喜ビトナル、若シ人ノ無禮ヲ尤メテ、我  
ヨリモ又惡言ヲ出シ、無禮ヲ行ヘバ、人モ亦怒テ  
堪忍セズ、遂ニ鬪ヒニ及ブ、此時ニイタリテ、始メ  
テ其禍ヲ恐レ堪忍スルハ、身怯ナリ、若シ人無禮  
ヲ行フトモ、我カ耻辱ニナラザル事ハ初メヨリ

能ク堪忍スベシ、彼ガ愚ナルニ對シテ、怒ヲ起シ、  
無禮ヲ施スハ、我モ亦愚ナリ、同  
○怒レバ横語多久喜ベハ、狂言多ク、一時ノ偏急  
ハ過後ノ羞慙トナル、續小兒語

第十四

○敏ハ慮リノ前ニ在リ、機ニ應シテ立ドコロニ  
斷ス、文心彫龍  
○事ニ敏ナル者ハ、其足ラザル所ヲ勉ム、朱子語  
○智ニ大小アリ、偏正アリ、智之大ニシテ正シキ  
者ハ、小技曲藝ニ於テ長ズル所無シト雖モ、義理

之大體ニ明ナルハ、君子ノ智ト謂フベキナリ、  
慎思録

○智之小ニシテ偏ナル者ハ、曲藝ニ長シ、衆技ニ  
通シ、凡ソ雜細之事ニ於テ甚ダ敏捷ナリ、然モ其  
心唯ダ小事ニ明ニシテ大體ニ暗シ、小人之才ト  
謂フ可キナリ、同

○君子之智ヤ、廣シテ倚ラズ、譬ヘバ高山ニ登テ  
四方ヲ望ガ如シ、見ル所廣遠ニシテ、其規模之大  
ナリ、小人之智ヤ、狭シテ偏ナリ、譬ヘバ管ヲ以テ  
天ヲ窺フガ如シ、能ク一偏ニ周フスト雖モ、其量

タルヤ小ナリ、慎思録

### 第十五

○君子ノ人ニ教フルニ次序アリ、先ツ傳ルニ小  
ナル者ト近キ者トヲ以テシ、然ル後ニ、教フルニ  
大ナル者ト遠キ者トヲ以テス可シ、程顥語

○至近至小之中、寸ヲ得レバ其寸ヲ守リ、尺ヲ得  
レバ其尺ヲ守リ、久シクシテ後チ道ノ全體趣ム  
ク所アリテ、漸ク識ル可ク、循習スル所アリテ、漸  
ク能クス可シ、朱子語

○前賢之言ハ、眞ニ一々躬ニ行ヒテ服膺スベシ

始メテ其効アルヲ知ル、只ダ漫ニ説キ過グベカラズ、朱子語類

○今ノ學者ハ古ト異ナリ、今ノ人ハ只ダ是強テ上段ニ向ヒ探リ去ル、古人ハ一步一步ヲ逐テ真ニ實ニ做シ得テ去ル、同

○書ヲ讀ニハ便チ一心書ヲ讀ム上ニ在ルベシ、事ヲ接スルニハ便チ一心事ヲ接スル上ニ在ルベシ、王學提綱

○讀書之道ニ初ノヨリ疎漏ニシテ唯先キへ行クモノハ、一生疎漏ヲ免レズシテ終ル、又先キへ

行クノミ欲シテ、後ニ反ルノミ欲セザルモノハ何事モ疎漏ニスベシ、自脩編

### 第十六

○是ノ氣ハ是剛ナルベクシテ、方ニ事ヲ做シ得ベシ、天地之氣ノ剛ナルガ如シ、何ノ物事ヲ論ゼズ皆ナ透シ過グ、人氣ノ剛ナル、其本亦タ此クノ如シ、若シ只一ノ重輕ノ物事ニ遇著シテ退キ轉ゼバ、何事ヲ做シ得シ、朱子語類

○賢哲ノ千言萬語、只ダ此事ヲ説クニ非ザル無シ、能ク此心ヲ策ウチ勵マシテ、勇猛ニ奮發シ、心

肝ヲ抜キ出シテ事ヲ做シ去ルベシ、兩邊ニ戰鼓  
ヲ播チ起スガ如シ、前頭何如ト問フ無シ、只進ミ  
去ラバ、方ニ工夫ヲ做シ得ニ、若シ半沈半浮ナラ  
バ、何事ヲ濟シ得ニ、同

○大片石ノ如キハ、是根ト與ニ抜キ去ルベシ、只  
石ノ面上ニ於テ薄ク削ラバ、終ニ何事ヲ濟サン、  
同

○性素ト怯懦ナル者ハ、古人之生ヲ達シ命ヲ委  
ネ、強毅正直ニシテ、言ヲ立ル必ズ信ニ、福ヲ求テ  
回ナラザルヲ觀テ、便チ勃然トシテ奮勵シ、毫モ

恐懼スルノ意アルベカラザルヲ欲ス、顏氏家訓

### 第十七

○足ルヲ知レバ殆カラズ、歲月原ト長ケレバ忙  
者自ラ之ヲ促ニス、天地原ト寛ケレバ、鄙者自ラ  
之ヲ隘クス、總ベテ足ルヲ知ラザルニヨル、人事通

○人ハ只我ニ若カザル者ヲ把テ較量スレバ、自  
ラ足ルヲ知ルベシ、紳瑜

○曾テ凶荒饑饉之苦ヲ經ズンバ、豐稔之福ヲ知  
ラス、群珠

○曾テ事變禍害之苦ヲ經ズンバ、安穩之福ヲ知

ラス 同

○曾テ飢寒逼迫之苦ヲ經ズンバ、飽食煖衣之福ヲ知ラズ 同

○曾テ疾病痛楚之苦ヲ經ズンバ、身ノ健康之福ヲ知ラズ 同

○曾テ險峻風波之苦ヲ經ズンバ、平地靜海之時ヲ知ラズ 同

○福祿ハ常ニ我ニ若カザル者ヲ把テ看レバ、怨尤共ニ自ラ息ム 同

○貧賤之時、眼中ニ富貴ヲ著ケズンバ、他日志ヲ

得テモ必ズ驕ラズ富貴之時、意中ニ貧賤ヲ忘レザレバ、一旦退體スルモ必怨ナシ、金言

○事前ヘニ恐懼スレバ則チ畏ル、畏ルレバ禍ヲ免ル、事後チニ恐懼スレバ則チ悔ユ、悔ユレバ過ヲ改ム、故ニ智者ハ能ク身ヲ保ツ、傳家寶

第十八

○左傳ニ曰ク、民生ハ勤メニ在リ勤ムレバ則チ匱カラズ、此ヲ以テ勤勞ハ身ヲ立テ善ヲ爲ス之本タルヲ知ル、若シ勤メス勞セズンバ、萬事皆ナ舉ニス、今夫ノ細民能ク勤勞スル者ハ必ス凍餒

之患ナシ、人ヲ親マスト雖モ、人亦之ニ任ス、常ニ  
懶惰ナル者ハ、必ず飢寒之憂アリ、人ニ親マスト  
欲スト雖モ、人用ヒザルナリ、呂氏訓蒙

○夫レ民ヲ富ス者ハ、農桑ヲ以テ本トシ、游業ヲ  
以テ末トス、百工者用ヲ致スヲ以テ本トシ、巧ニ  
飭ルヲ以テ末トス、商賈者貨ヲ通スルヲ以テ本  
トシ、奇ヲ鬻クヲ以テ末トス、三者本ヲ守リ末ヲ  
離ルレバ則チ民富ム、本ヲ離レ末ヲ守レバ則チ  
民貧シ、潜夫論

○士ハ忠勤ヲ專ニスレバ、求メサレ氏自ラ福ヲ

得ル、農ハ歳ノ凶ニ遇テモ惰ラス、耕耨ニ專ナレ  
バ、自ニ食ヲ得ル、工ハ精シク製シテ、粗糞ナラザ  
レバ、必ず利ヲ得ル、商ハ正直ニシテ、利益ヲ貪ラ  
ザレバ、人ニ信愛セラレテ、必ず商ヒ多シ、是皆ナ  
本ヲ勤メテ、自ラ得ル所ノ真ノ利ナリ、大和俗訓  
○勤メハ利之本ナリ、能ク勤メテ自ラ得ルハ真  
ノ利ナリ、利ヲ專ラニ貪レバ必ず害アリ、同  
○勤ムベキ業ヲ正路ニ勤メズシテ、邪ナル事ヲ  
シテ利ヲ貪ル者ハ、一旦ハ人ニヨリ幸ヒ有リト  
雖モ、天道之惡ムベキ理ナレバ、後ハ必ず禍アリ、

各事別表 卷之八 三十一 金華山藏板

K1101-231-2

家道訓

○後生身ヲ處キ業ニ居ル者ハ其レ勤勞ヲ以テ先キトセズシテ而テ懶惰ニシテ自ラ其身ヲ棄ツ可ケンヤ、呂氏訓蒙

修身訓蒙卷八終

明治十六年一月廿七日版權免許  
同 年三月廿五日出版

定價八錢

長壽縣平民

編輯兼出版人 井上重實

東京芝區櫻川町貳番地寄留

東京府士族

發兌人 金鱗堂 伊東武彦

東京芝區櫻田本町三番地